

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 7 月 26 日(2023.7.26)

【公開番号】特開 2022-32791(P2022-32791A)

【公開日】令和 4 年 2 月 25 日(2022.2.25)

【年通号数】公開公報(特許)2022-034

【出願番号】特願 2020-136984(P2020-136984)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 4 B

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 7 月 18 日(2023.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外周面に複数種類の図柄が配列され、図柄が配置されている位置毎に図柄番号が割り当てられている複数のリールと、

役の当否を決定する内部抽選を行う内部抽選手段と、

前記複数のリールを遊技毎に回転させ、停止操作を契機として、前記内部抽選の結果に応じた態様で回転中のリールを停止させる制御を行うリール制御手段と、

を備え、前記複数のリールが停止した状態で、役毎に予め定められた入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されている場合に役が入賞する遊技機であって、

前記リール制御手段が、

30

前記内部抽選で特定抽選結果を得た遊技において、停止操作が行われた時点の回転中のリールの位置を示す押下検出位置が特定押下位置であった場合に特定役を入賞可能とし、当該特定押下位置とは異なる押下検出位置で停止操作が行われた場合に当該特定役を入賞不可能とする制御を行い、

前記特定抽選結果に対して複数の特定押下位置が設定されている場合に、各特定押下位置に対応する図柄番号を所定値で除算した余りが同一となっており、前記停止操作が行われた際の押下検出位置に対応する図柄番号を所定値で除算した余りに基づいて、当該停止操作が前記複数の特定押下位置のいずれかで行われたか否かを判定することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

40

請求項 1 において、

前記リール制御手段が、

前記内部抽選の結果に応じた停止制御番号に基づいて回転中のリールを停止させる制御を行い、

前記内部抽選の結果に対応する前記停止制御番号から得られる特定値に基づいて当該内部抽選の結果が前記特定抽選結果であるか否かを判定し、前記特定抽選結果であると判定された場合に、当該特定値を前記所定値で除算した余りと、押下検出位置に対応する図柄番号を前記所定値で除算した余りとを比較して前記停止操作が前記特定押下位置で行われたものであるか否かを判定することを特徴とする遊技機。

50